

放水立坑（上流水槽）上流海水配管水の分析結果

要約	分析値	318～382（Bq/L）（1,500Bq/L未満の確認）
	計算比較	計算値（230～918Bq/L）と同程度を確認 ※2

放射能分析 トリチウム

核種	採取日時	分析結果		
		分析値 (Bq/L)	不確かさ ※1 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)
H-3	2025/12/05 09:34	3.5E+02	± 3.2E+01	6.6E+00

・〇.〇E±〇とは、 $〇.〇 \times 10^{\pm 〇}$ であることを意味する。  
（例）3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31，3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1，3.1E－01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

- ※1 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。  
「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数k=2」を用いて算出している。
- ※2 「計算値」とは、測定・確認用設備で分析したトリチウム濃度とALPS処理水、海水の流量比から計算で求めた値。  
「計算値」は当社ホームページに掲載している「希釈後トリチウム濃度」を指し、潮位などにより、わずかに変動するが一日をとおして変化するものではないため、原則、試料採取日の午前7時の値を用いて計算比較する。  
[https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps\\_fd-month-sel-j.html](https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps_fd-month-sel-j.html)  
分析値は、混合希釈の不確かさ（ $1/2 \times \text{計算値} \sim 2 \times \text{計算値}$ ）を考慮した計算値と比較する。